



日本共産党香川県委員会、県議団、高松市議団などは4日、高松市で街頭宣伝しました。中谷浩一県委員長、白川よう子副委員長、田辺健一地区東部委員長、榎昭二、秋山時貞県議、岡田まなみ、藤沢やよい高松市議、池野元章市政対策委員がそれぞれ訴え、「参院選挙で新しい政治を作り出す」「憲法九条

瓦町で新年宣伝

【2面から】ことを説明。「今回の控訴取り下げは、政務調査費の透明化を求める県民世論の勝利だ」としています。裁判の原告「オンブズ

改悪を許さなれたたかいたい政治から優しく強い政治を」と訴えました。中谷氏は、党の100周年、コロナ対策、経済問題での党の対策を示しながら「党はジェンダー問題など新しい提案も行ってきた。今年は、みなさんの意見に答えながら新しい政治の方向を切り開きたい」と、参院選の比例代表にひそくへい候補はじめ5人全員を送り出す決意を述べました。榎氏は、海外視察の裁判で県議への返金が命じられたことに触れ、「税金の使い方を正すため頑張りた」と決意しました。

香川革新懇と9条の会かがわは6日、高松市で野党共闘発展の集会を開きました。日本共産党の田辺健一東部地区委員長、立憲民主党県連の高田良徳幹事長、社民党県連の三野ハル子代表、市民派の植田真紀高松市議、新社会党の井角操県本部委員長がリレートークし、「自公政権に立ち向かうためには市民と野党の共闘が重要だ」（植田氏）など思いを述べました。共産党の田辺氏は、憲法改正論議をけん制。「9条の精神が生かされる日本をつくっていくために力を合わせよう。参院選で野党共闘で今の政治を変えていくため力を合わせる」と決意しました。高田氏は、共産党創立100周年の歴史や、迫害に逢いつつも民主主義や労働者の権利を掲げた政策を紹介「今の野党に共通するルーツがある。

香川県原水協は元旦の1日、初詣出客が訪れる大窪寺で署名行動しました。原爆の火の前で行われた署名行動は「暖かな日差しの下で行われた」（福井利夫事務局長）とのこと。参加者は原爆の火前に

訪れた参拝者に署名をお願いしました。福井事務局長は「署名は、四国は言うに及ばず、北は東京から南は福岡、鹿児島まで。大窪寺が全国規模の寺であることを実感します。応じた人も、三世代家族から若いカップルま

で様々な方が署名に応じていました。「原爆は嫌」と親より先に署名に応じてくれる小学生や、原爆の火に手を合わせる女性が多かった。通り過ぎた青年が引き返して応じたり、アットホームな絆を感じました」と語りま



県議会海外視察旅費 高松高裁が返還命令

香川県議会の海外視察を巡り、市民オンブズ香川が16年8月から17年6月までに行った海外視察、計4回についての旅費などの返還を求めた裁判（2017年11月提訴）の判決が24日、高松地裁でありました。天野智子裁判長は返還を求められた20人の議員（当時含む）全員に、一部ないしは全額の返還を命じました。ドイツ、スイス、イタリアへの視察は全額の返還を求めまし



対象になった海外視察は、17年6月のドイツ、スイス、イタリア方面や、16年9月の南米への行事。判決後、光成卓明弁護士は、「非常に画期的な判決だ。ドイツ方面の視察は全面的な返還。全員に何らかの返還が認められたことは画期的だ」と話しました。オンブズ香川の植田真紀代表は「議会が議決をしていなければならないところが通らなくなった。視察の在り方が問われる」と話しました。ドイツ方面への視察の

返還を共に求めていた「民主県政をきずく会」の明珍宗豊事務局長は「県民の感覚からすれば返金は当たりです。税金の在り方を改めるきっかけになれば」と話しました。同時に知事に求めている業務委託料の返還については訴えを退けました。県が控訴断念

香川県議会の海外視察を巡り、県は7日、控訴を断念しました。県は「県議会の判断」としています。日本共産党香川県議団（榎昭二県議団長）は5日に、「判決を重く受け止め、控訴しないことを求める緊急要望」を県に

13年度と18年7月から現在までの政務調査費のうち、当時の県議が意見交換会費名目で返還命令が出されたことで全額返還に応じたことに関し、日本共産党県議団は12月に声明を出しました。①判決確定を受けて、2014年度以降の意見交換会費もすべて返還させること ②政務活動費マニュアルの改訂、会派から収支報告の検討、更なる透明性の確保 ③議会改革検討委員会の



海外視察 党議員団声明 画期的判決 引き続き中止を

この判決を受けて日本共産党香川県議団は同日、声明を出しました。声明は、観光に終始した「ドイツ方面の視察」に関して「参加した6人に全額返還を求める判決で全面勝訴といえる画期的判決。他3件の判決についても観光部分について返還を求めるもので、評価できる」としています。また「党議員団は視察とは名ばかりの、議員ひとり100万円以上の豪華な『観光旅行』に税金を使うべきではないと反対し、中止を強く求めています。榎昭二団長は「引き続き、海外視察の中止と視察参加者への旅費の全額返還を求め、県民への信頼回復と県民目線に立った議会改革に全力を尽くしたい」と話しています。



いまは、憲法も不断の努力をしないとけない。野党一体となって頑張る一翼を担う」と力をこめました。

開催を求めています。そのうえで、「判決後の4月23日に、控訴しないことを求める緊急要望を知事と議長に提出している」こと、「意見交換会の支出は公職選挙法違反の寄付行為に当たると質問してきた」【3面に続く】

野党共闘の発展を革新懇

香川革新懇と9条の会かがわは6日、高松市で野党共闘発展の集会を開きました。



丸亀駅 冬のイルミネーション

JR丸亀駅前に、飯野山（讃岐富士）をモチーフにしたイルミネーションが登場し、年末年始のひと時を和ませています。2月6日まで午後5時から10時。



地元の職業能力開発大学校が協力し、約1万5000個のLED電球を使い、山に雨が降ったり月が出たりする姿を表現しています。実施する市観光協会